

3. 西部地域

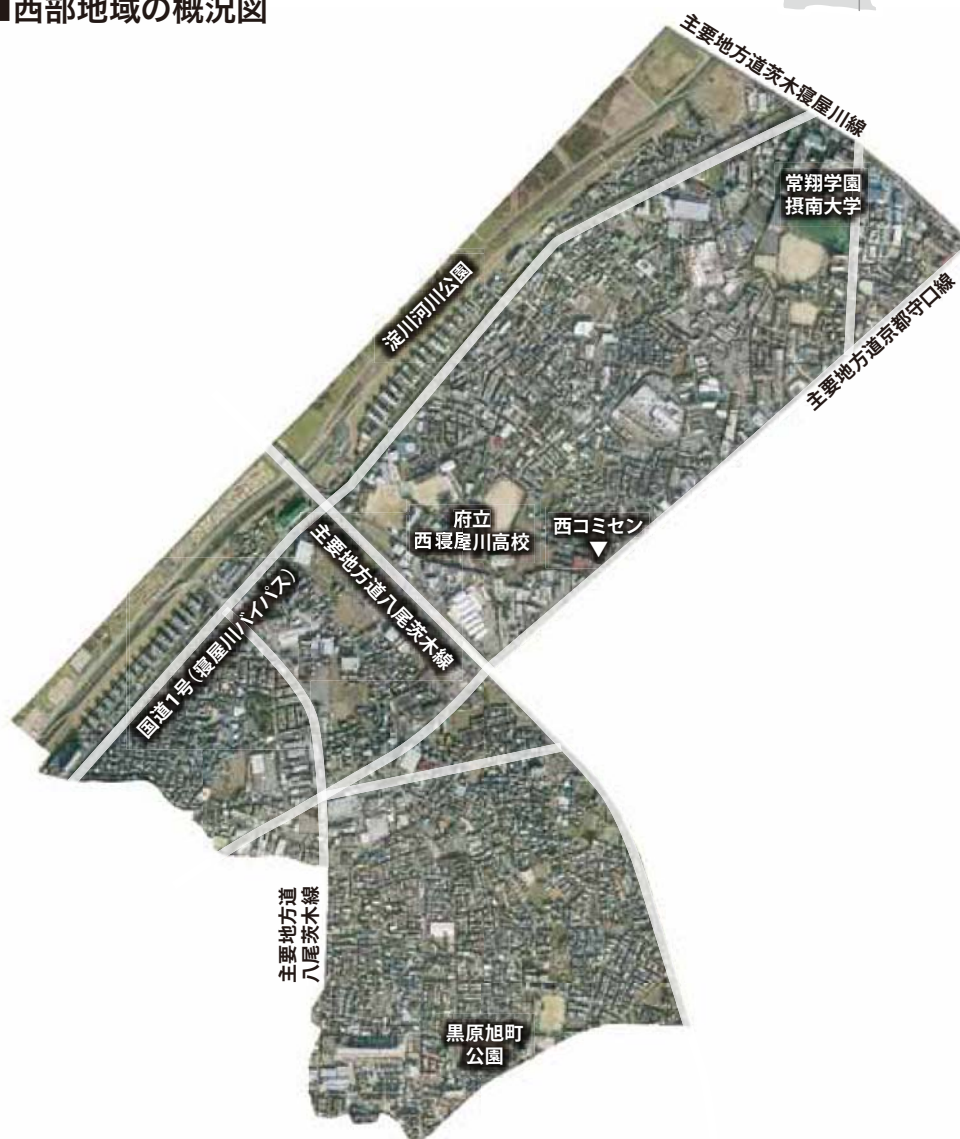
1 地域の概況

- ① 市域の西部に位置します。
- ② 本地域の西側を淀川が流れ、守口市、高槻市、摂津市の市域界と主要地方道京都守口線や主要地方道茨木寝屋川線などに囲まれています。
- ③ 本地域を、国道1号(寝屋川バイパス)、主要地方道八尾茨木線などの幹線道路が通過し、淀川河川公園などの公園・緑地が配置されています。
- ④ 本地域の面積は、約306haです。

■ 西部地域の位置



■ 西部地域の概況図

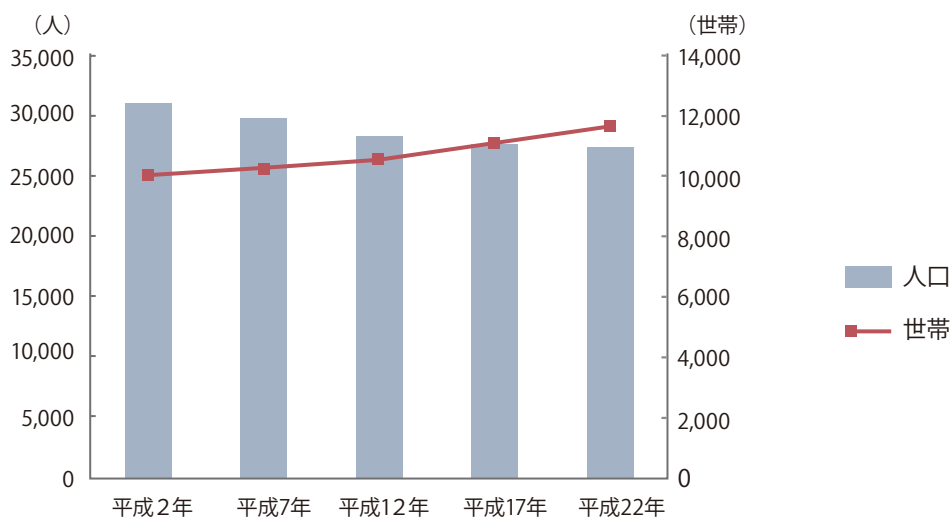


2 地域の現況と特性

(1)人口

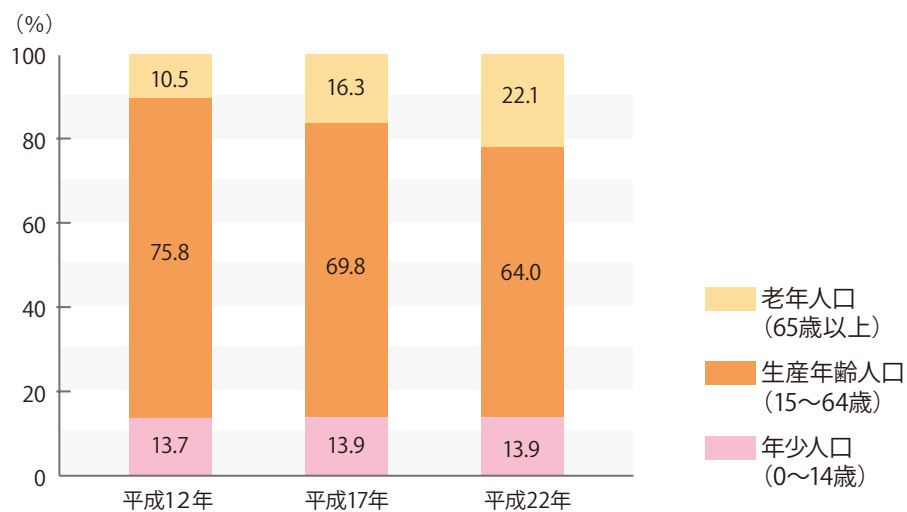
- 1) 西部地域における平成22年現在の人口は27,322人であり、市域全体の人口の約11.3%を占めており、各地域の中で1番人口の少ない地域となっています。
- 2) 人口の推移としては、平成2年から平成22年までの各年で減少が続いています。
- 3) 世帯数については、平成22年現在11,621世帯で、各年で増加傾向にあり、1世帯当たりの平均世帯人員2.35人／世帯を見ても、全市平均の2.28人／世帯を上回っています。
- 4) 高齢化率については、平成22年現在約22.1%で、市域全体の約22.2%とほぼ同じ値となっています。

■ 人口・世帯数の推移



資料：住民基本台帳及び外国人登録原票の人口

■ 年齢3区分別人口

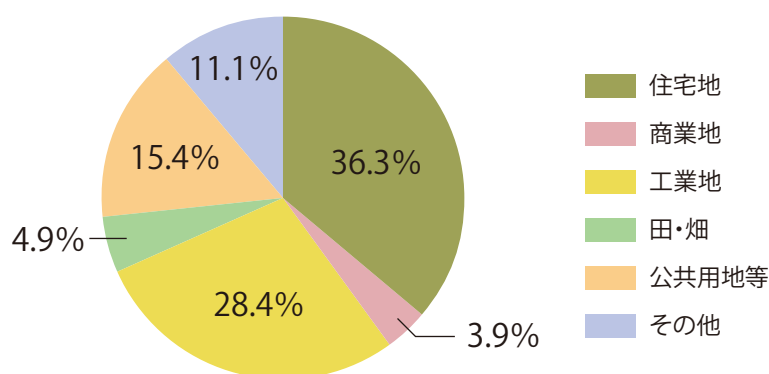


資料：住民基本台帳及び外国人登録原票の人口

(2) 土地利用

- 1) 本地域の土地利用状況は、住宅地が約111ha（約36.3%）、商業地が約12ha（約3.9%）、工業地が約87ha（約28.4%）、田・畑が約15ha（約4.9%）、公共用地等が約47ha（約15.4%）、その他が約34ha（約11.1%）となっています。
- 2) 国道1号（寝屋川バイパス）と主要地方道京都守口線に挟まれた地域において、住宅と工場等が混在した土地利用が形成されています。
- 3) 国道1号（寝屋川バイパス）と淀川に挟まれた地域では、大規模な公的賃貸住宅が立地しています。
- 4) 本地域内の西部には、低層戸建て住宅地が形成されており、地区計画制度を活用した良好な住環境の保全が図られています。
- 5) 本地域内の南部には、旧集落が形成されています。
- 6) 国道1号（寝屋川バイパス）や主要地方道京都守口線などの沿道において、流通業務施設や沿道サービス施設などが立地しています。

■ 土地利用構成比



資料：都市計画基礎調査（平成18年）

(3) 都市基盤施設（道路・公園等）

- 1) 都市計画道路については、国道1号線、茨木寝屋川線、千里丘寝屋川線が整備されています。
- 2) 都市計画公園については、黒原旭町公園が整備（一部未整備。）されています。
- 3) 都市計画緑地については、淀川河川公園が整備（一部未整備。）されています。
- 4) 公共交通（バス）については、香里園駅西側を起点として、点野・葛原方面を通過し、仁和寺方面を経て寝屋川市駅西側に繋がるルートや、両駅から仁和寺方面を経て守口市へと向かうルートにおいて、路線バスが運行されています。
また、市内のバス交通の不便地域を解消するため、香里園駅西側を起点として、点野・葛原方面を経て、総合センターや寝屋川市駅東口を結ぶルートにおいて、「タウンくる」が運行されています。

(4) その他公共施設等

- 1) 西コミュニティセンターがあります。
- 2) 保育所・保育園(6箇所)、幼稚園(2園)、小学校(2校)、中学校(1校)、高等学校(1校)があります。
- 3) 本地域には、包括連携協定を締結している学校法人常翔学園(摂南大学)があります。

(5) 水や緑、歴史文化

- 1) 広大で自然豊かな淀川河川公園は「新寝屋川八景」に指定されています。また、幹線水路の桜は、大阪みどりの百選に選ばれています。
- 2) 本地域には、淀川や幹線水路が流れています。
- 3) 仁和寺氏神社、淀川等を結んだルート【淀川コース】などを「ねやがわ文化と歴史のみち」として設定し、ふるさと「寝屋川」を実感することができるやすらぎと憩いの場が形成されています。
- 4) 淀川河川公園には、北河内自転車道(北河内サイクルライン)が整備されています。



地域の現況と特性に関する ワークショップにおける意見

ワークショップにおいて「地域の良いところ(まちづくりの資源)」としてまとめられた意見の中で、以下の項目が「まちづくりにおいて特に大切にしたい資源」として挙げられています。

◆ まちづくりにおいて特に大切にしたい資源

- ① 淀川の河川敷に近く、緑に恵まれているところ
- ② 大学があり、協力的な活動が可能
- ③ 近くに総合センターがある

3 地域の課題**(1) 住宅と工場等が混在する地域における環境の改善**

- 国道1号(寝屋川バイパス)と主要地方道京都守口線に挟まれた地域については、戸建て住宅を主体とした住宅地と、大規模工場をはじめとする工業地が混在した土地利用が広範に渡って形成されており、住環境の悪化や操業継続が困難な状況が見受けられることから、それらの改善が求められます。

(2) 幹線道路沿道のまちづくり

- 国道1号(寝屋川バイパス)や主要地方道京都守口線の沿道については、流通業務施設や沿道サービス施設が立地していることから、これらの機能充実が求められます。

(3) 地域特性に応じた良好なまちなみの形成

- 1) 国道1号(寝屋川バイパス)と淀川に挟まれた地域については、恵まれた自然環境との調和を図るなど、水とみどりの自然空間と共存した居住環境の形成が求められます。
- 2) 戸建て住宅や中高層住宅により形成されている既存住宅地の居住環境の維持・向上が求められます。
- 3) 本地域に点在している、狭あいな道路が多く存在する消防活動が困難な地域については、防災性の向上が求められます。
- 4) 歩行者空間における安全性の確保が求められます。
- 5) 近年多発する豪雨等に対応するため、水路や雨水排水管の適正な維持管理を行うとともに、雨水貯留施設の設置など更なる浸水被害防除の対策が求められます。

(4) 広大な淀川などの自然環境を活用したうるおいあるまちづくり

- 1) 淀川や幹線水路の水辺空間と、淀川河川公園などのみどり空間により形成される自然環境の保全や形成が求められます。
- 2) 新寝屋川八景の淀川河川公園をはじめ、仁和寺氏神社や市指定文化財の正立寺(しょうりゅうじ)の梵鐘(ぼんしょう)などの歴史的資源を活かした魅力ある都市空間の形成が求められます。
- 3) 大規模自転車道として整備された北河内自転車道(北河内サイクルライン)を活用するなど、淀川河川公園や文化施設などを広域的に結び、自然とのふれあいやスポーツ、レクリエーションの場としての充実が求められます。

**地域の課題に関する
ワークショップにおける意見**

ワークショップにおいて「地域の改善課題」としてまとめられた意見の中で、以下の項目が「重点的に取り組むべき改善課題」として挙げられています。

◆ 重点的に取り組むべき改善課題

- ① 大学と地域の関係の距離をちぢめ、交流関係を深める
- ② 国道1号などがあり、便利である一面、地域内の道路は狭く、歩道もないところが多く、危険であり、歩行者や自転車が安心して通行できる生活道路の整備が必要である
- ③ 災害時における高齢者などの要援護者への対策が必要である

4 地域の目標

◆住宅地と工場等が共存した活力あるまちなみの形成

住宅地における生活環境と工場等の操業環境をそれぞれ保全するため、地域住民の方々と企業とのつながりの強化促進に努め、地域におけるまちづくりを促進するとともに、計画的な土地利用誘導を図ることにより、市民活動や産業の更なる活性化を目指します。

また、地域の周辺に形成される主要幹線道路網による立地ポテンシャルを活かし、既存大規模工場の操業継続を促すとともに、流通業務施設や沿道サービス施設の集積を図るなど、地域全体におけるまちの活力の向上を目指します。

◆大学を中心とした地域連携によるコミュニティを育むまちづくり

市と包括連携協定を締結している学校法人常翔学園（摂南大学）との連携により、本地域をはじめとする市内各地域の活性化を図る中で、地域住民が主役となったまちづくり活動を通じて、地域コミュニティの育成を目指します。

◆広大な自然と共生したうるおいのある都市空間の形成

淀川や淀川河川公園により形成される水とみどりのオープンスペースを活かした広大な自然環境の保全・形成に努め、これらと調和するまちなみの景観を守り、育てるなど、自然と共生したうるおいのある都市空間の形成を目指します。



ワークショップにおけるまちづくりの目標

ワークショップでは、西部地域において重点的に取り組むことが必要なまちづくりの課題に対して、その取り組みを進めていくために必要な条件を検討し、以下のとおり取り組みの方向がまとめられました。

人々の交流や付き合いを深め、子どもを安心して育てることができる環境づくり

【まちづくりの取り組みの方向】

- 災害などに備え、地域で助け合うことができ、安心して暮らせるまちをつくろう！
- 交通事故や犯罪のない安心して暮らせるまちをつくろう！

淀川の自然を活かし、地域と大学の交流があるまちづくり

【まちづくりの取り組みの方向】

- 淀川河川敷を利用して、美しく、楽しむことができる環境を、地域と大学が連携してつくろう！

5 将来の都市空間形成に向けた都市計画分野の方針①

種 類	内 容
土 地 利 用	● 既存住宅地における定住性の確保を目指し、良好な住環境の維持保全や向上に努めます。 ● 国道1号(寝屋川バイパス)や主要地方道京都守口線などの幹線道路沿道については、沿道サービス施設等の立地誘導に努めます。
市 街 地 整 備 等	● 国道1号(寝屋川バイパス)と主要地方道京都守口線に挟まれた地域における住工混在の改善に努めます。 ● 道路が狭あいな旧集落地区などにおいて、防災上必要な道路などの空間確保に努め、安全・安心な住環境の形成に努めます。
道 路・交 通 体 系	● 本地域における都市計画道路については、国道1号線、茨木寝屋川線、千里丘寝屋川線が整備されています。地域内の生活道路等についても、快適な道路環境・機能の保全に努め、市民生活の利便性、快適性の確保を図ります。



5 将来の都市空間形成に向けた都市計画分野の方針②

種 類	内 容
そ の 他 都 市 施 設 整 備	● レクリエーション拠点である淀川河川公園を中心として、主要地方道八尾茨木線の緑化や淀川などの水辺空間を活かした、水と緑のネットワーク軸の形成に努めます。
安 全 で 安 心 で き る ま ち づ くり	● 歩行空間のバリアフリー化への取り組みとして、車いす使用者がすれ違えるように、幅の広い歩道の整備や、歩道の段差・勾配等の改善に努めます。 ● 生活道路の整備に努めるなど、高齢者・障害者にやさしいまちづくりの推進を図ります。 ● 地域の防災環境を整備するとともに、市民の防災意識の高揚や自主防災組織の強化を図るなど、地域防災力の向上に努めます。 ● 市街地における治水機能や建築物の耐震化率の向上に努めます。
景 観 の 形 成 や 自 然 環 境 の 保 全 等	● 寝屋川市景観基本計画に基づき「景観重点ゾーン」に位置づけられた淀川河川軸を中心に、地域住民や関係権利者等との意思疎通を図りつつ、「景観重点地区」の指定に向けた取り組みを進めます。 ● 市民が主体となって取り組んでいる水辺環境の保全活動を支援するとともに、自然環境や景観に配慮した貴重な水辺空間の整備と保全に努めます。



6 整備方針図



凡 例	
《 拠 点 》	
	レクリエーション拠点
《 土地利用 》	
	一般住宅Aゾーン
	一般住宅Bゾーン
	沿道サービスゾーン
	住工共存ゾーン
	レクリエーション・緑地ゾーン
《 都市施設等 》	
	都市計画道路(整備済)
	都市計画道路(未着手)
	地域の主要道路
	都市計画公園(着色部分⇒整備済)
	都市計画緑地(着色部分⇒整備済)
	主な河川・水路